

# 「大学のカルト対策」ガイド

## 北大の櫻井、大畑教授が出版

反社会的な教団の布  
教、信者獲得の場として  
「大学」が注目され、大  
学側の管理、学生指導の  
在り方も問われている。

教職員やカウンセラーの  
前線である大学——その  
あり方を変えていた。様変わりしつ  
てきた。ある「カルト問題」の最  
前線である大学——その

問題」と第2部のシンボ  
ジウムの記録の2部構  
成。また、統一教会との訴  
訟に長年携わってきた郷  
路征記・弁護士は「統一  
教の大学における対策の  
への差別であると主張し  
た。多くの大学が「カルト  
問題」の信者勧誘の場に  
なっていることはかねて  
注目されてきた。「カルト  
問題」の最前線でもあ  
る大学で学生の生活指導  
に携わる人々にとって、  
本書は適切なガイドブック  
といえるだろう。

一方、「カルト視され  
る教団」は、信教の自由  
の侵害、特定教団の信者  
への差別であると主張し  
た。多くの大学が「カルト  
問題」の信者勧誘の場に  
なっていることはかねて  
注目されてきた。「カルト  
問題」の最前線でもあ  
る大学で学生の生活指導  
に携わる人々にとって、  
本書は適切なガイドブック  
といえるだろう。

一方、「カルト視され  
る教団」は、信教の自由  
の侵害、特定教団の信者  
への差別であると主張し  
た。多くの大学が「カルト  
問題」の信者勧誘の場に  
なっていることはかねて  
注目されてきた。「カルト  
問題」の最前線でもあ  
る大学で学生の生活指導  
に携わる人々にとって、  
本書は適切なガイドブック  
といえるだろう。

一方、「カルト視され  
る教団」は、信教の自由  
の侵害、特定教団の信者  
への差別であると主張し  
た。多くの大学が「カルト  
問題」の信者勧誘の場に  
なっていることはかねて  
注目されてきた。「カルト  
問題」の最前線でもあ  
る大学で学生の生活指導  
に携わる人々にとって、  
本書は適切なガイドブック  
といえるだろう。

### 大学のカルト対策

櫻井義秀・大畑昇著



「バス・カルトとの  
戦い」  
著者: 櫻井義秀・大畑昇  
出版社: フロンティア

談室長を務めた大畑昇・  
恵泉女学園大学長がキャ  
ンパス内の勧誘実態と対  
策を報告し、久保内浩嗣  
た日本学生相談学会のシ  
ンポジウムをベースとし  
て編集された。

第1部「日本のカルト  
法的根拠などを解説、真  
氏、臨床心理士の平野学  
氏がカルト・カウンセリ  
立しつつある。

## 問われる学生指導法 勧誘手法も様変わり

「なぜカルトは問題なの  
か」と題して学術的立場  
から問題の所在と核心の  
課題を分析。川島堅一・  
秀教授と、同大で学生相

談室長を務めた大畑昇・  
恵泉女学園大学長がキャ  
ンパス内の勧誘実態と対  
策を報告し、久保内浩嗣  
た日本学生相談学会のシ  
ンポジウムをベースとし  
て編集された。

第1部には櫻井教授が  
インターネットのSNS  
(ソーシャル・ネットワ  
ーキング・サービス)を  
活用するなど、キャンペ  
ンパ

誘の被害に対して大学側  
は、学内のカウンセラー  
や指導教員、事務職員を  
はじめ、学外の弁護士・  
専門家とも連携して組織  
的に対応するやり方を確  
立しつつある。

同教授は「カルト対  
策」は学生生活支援とい  
う意味だけでなく、大学

（津村恵史）